

# リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2023年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務		作成会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱
工期	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日		作成者	加藤 雅人
作業名称	オーバーレイ工	作業手順書	作成年月日	令和2年12月10日
使用機械 使用設備	10tダンプトラック、アスファルトフィニッシャー(W=2.0~4.5m)、2tトラック、デスクリビュータ		改正年月日	令和2年12月10日
	振動ローラ(4t)、中型セルフ		現場責任者	加藤 雅人
使用工具、機器	スウィーパー(手押し式)、プレートコンパクタ(70kg) 乳剤散布機(0.2~1.2ℓ/㎡)		協力会社	会社名 ㈱房村組
	スコップ、レーキ、ほうき		協力会社責任者	自署サイン
保護具	ヘルメット、安全靴、脚絆、自発光チョッキ、防護メガネ、マスク、手袋、視認性の良い作業着			作業 順 序
材料	As混合物 密粒度13mmF・・・40t、As乳剤・・・400ℓ			
免許・資格等 (免)(技)(特)(準特) の区別を記す	自動車運転免許証(大型特殊)			
	特別教育:職長・振動工具取扱・ローラー運転特別教育			
	技能講習:車両系建設機械・小型移動式クレーン			
作業人員	職長 1人、作業責任者 1人、10tDT運転手 2人、10tセルフ運転手 3人			
	作業員 5人、保安員 2人 合計 14名			
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	作業責任者(職長)	周知会実施日	令和2年12月23日	
	(役割を確認してこの作業に関わる全員が自署サインする)			

1	現地確認
2	準備作業
3	墨出し・マーキング
4	清掃工
5	乳剤散布
6	舗設工
7	転圧工
8	後片付け

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可能性	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○△	○×	○○	1:極めて小さい	関係者に対策の周知
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△△	△×	○△、△○	2:かなり小さい	関係者に対策の指示
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×△	××	○×、△△、×△	3:中程度	職長が確認
				△×、×△	4:かなり大きい	工事担当責任者が確認
				××	5:極めて大きい	十分に訓練をした対策が必要

リスクレベル 5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対策の指示 1=関係者に対策の周知

作業項目	手順	急所	リスクの洗い出し	可能性	重大性	評価点	リスクレベル	ミス・ロス	リスクの除去・低減のための実施すべき事項の特定 (防止対策)
(誰が)	主なステップ	作業のポイント	(予想されるミス・ロス)						
現地確認(全員)									
	作業箇所確認	危険ポイントの確認							
	周辺安全確認 (埋設物・構造物)	管理用図面で事前確認							
準備作業(全員)									
	ミーティング	健康状態の確認・免許・資格等の確認・光物(チョッキ・脚絆・ヘッドライト等)の充電確認・業務用プレートの確認・入場方法・入場箇所・車両順番・役割分担の確認・車両の始業前点検・工具の確認・積み込み荷の確認(落下・飛散対策)荷締め位置、荷台のネット・シート掛けの確認する。 <b>工事車両幕がロープ及び養生テープで確実に固定されていることを確認。</b> 担当者は施工計画段階でNEXCOと打合せした内容を作業員へ周知・報告すること。 <b>車両出入庫の際に、運転手は車両の周囲(上下含む)を指差し、障害物が無い事を確認のうえ、出入庫する。</b>							
墨出し・マーキング(職長)	施工箇所のマーキング	クラック箇所を再度現場で確認する	点検・調査中、作業車にひかれる	○	×	○×	3		正対方向で作業を行うこと。また、退避場所の確認やハンドル切・輪留め・サイドブレーキを確実に掛ける。
清掃工(作業員)	清掃で回収した廃材はダンブに積み込む	廃材をこぼさぬよう気をつける	スコップ等の道具が他作業員へ当たり、怪我をする	△	○	△○	2		安全靴・脚絆・視認性の良い服装を着用させる
清掃工(作業員)	清掃で回収した廃材はダンブに積み込む	廃材をこぼさぬよう気をつける	重機を操作中、他の作業員や車両・機械と接触する	○	×	○×	3		運転手は基本前進で進むこととし、車両をバックで移動させる際は必ず誘導員を設け、指示に従う
乳剤散布(作業員)	デスクリビュータにてAs乳剤の散布を行う	しっかり養生を行い、不純物が付着しないようにする	乳剤が飛散し、目や口に入る	△	△	△△	3		作業中は防護メガネ・マスクの着用を徹底する
	端部を人力で散布する	塗り残しは無いか確認する	切削後の段差でつまずき転倒する	△	○	△○	2		段差ができていところはライトで明るさを保つようにする。
舗設工(作業員)	AsF、レーキ、スコップを用いて、アスファルト混合物の敷き均しを行う	規定値の品質・温度を確保できているかの確認	路肩に置いた養生テープやスプレー缶、台車などが転がり、転倒の原因となる。	△	○	△○	2		転がしやすい道具等は全て工具箱へ入れ、台車は車輪ロックを確実に掛ける、輪留めを設置する。
		フィニッシャー運転手は幅、高さに注意する							
転圧工(作業員)	端部はプレートコンパクターを使用し、転圧を行う		振動工具の連続使用で振動障害になる	△	△	△△	3		振動工具の連続使用時間を守る。(1日2h以内、一連続作業時間10分以内→5分以上の休止時間)
	順次後方から振動ローラを用いて転圧を行う	急なハンドル切りをしないよう注意する	プレート等の重量物を降ろしたり運ぶ際に腰を痛める	×	○	×○	3		重量物を運ぶ際は、2名以上で声を掛け合いながら運ぶ。
	振動ローラ・タイヤローラ・振動ローラの順を守る	規定値通りの回数にて転圧作業を行う	作業員と振動ローラ・タイヤローラが接触し、怪我をする	○	×	○×	3		振動ローラ・タイヤローラとの間隔を十分保つ。
開放温度測定	表面温度40°以下であることを確認する								
後片付け(全員)	清掃作業を行う	ほうき、プロアー、ハンドスウィーパーで清掃する							工事車両幕を取外した場合は専用のケースに確実に格納し車内に保管する事